

森の土づくり 研究室

自然によりそい、品質にこだわる、まじめな土づくり

3つの約束

① 確かな原料で、 こだわりの配合

すべての原料に品質基準を設け、クリアした原料のみを使用。培養土の開発では植物ごとに研究を重ねて、独自のレシピを作り上げます。

② すくすく育つか、 しっかり確認

開発した培養土は研究室と試験用ハウスで発芽と生育をしっかり確認。商品は作るたびに品質をチェックしてから出荷します。

③ 責任をもって、 サンプル保管

培養土は決められた期間、出荷したすべての製品サンプルを研究室で保管。お客さまからのご相談やお問合せに、迅速に対応します。



植え替えのポイント!

● 植え替えは基本的に春の葉摘みと同時期(3月下旬から4月頃)に行います。

株抜き



鉢の縁を軽くたたくと、鉢から出やすくなります。

根ほぐし



鉢から根鉢を崩さないようにして抜き、周囲の土を1~2cmおとしします。

植えつけ



鉢底ネットを敷き、鉢底石を2~3cmほど入れて、深植えにならないように植えつけます。※施肥についてはお手持の肥料の使用説明に従ってください。

水やり



鉢底の穴から水が出てくるまで、たっぷりと水やりをします。根付く2週間程度までは、日陰で管理します。



栽培のコツ!

葉摘み

● 春の葉摘み

株の形を整えるためと、新しい葉を増やして生長を促すために行います。地際から3~5節を残して上部の2~3節を摘み取ります。全体のバランスを見ながら、株が丸く収まるように摘みましょう。適期は3月下旬~4月頃までです。摘み取った葉はさし芽に利用できます。



● 秋の葉摘み

花を咲かせる為に行います。花は成熟した葉の先にしかつきませんので、色が浅く、小さな新しい葉は摘み取ります。葉摘みをすることで、花芽が付きやすくなり、開花時期が揃います。適期は9月~10月頃です。

さし芽



植え替え時に芽摘みした葉が使えます。3~4日陰干ししたあと全体の1/3を土に差し、水をたっぷりと与えます。その後1.5~2ヵ月で発根します。

短日処理



10月下旬~11月に段ボール箱を被せて、夕方5時~翌朝9時まで暗くします。これを毎日続けると、12月には花が咲きます。

水やり



8月~10月、1月~2月は水やりを控えます。特に夏は茎節にシワが入るほど乾燥が気味にすることが大切です。

置き場所

開花前は置き場所を動かさないようにしましょう。1日の気温差が激しい場所は避けましょう。つぼみを落とす原因となります。

商品名	シャコバサボテンの土
主要配合原料	火山性砂礫、ピートモス、堆肥、パーライト など ※品質向上のために変更する場合があります。ご了承ください。
pH	6.5±0.5
肥料配合の有無	無

注意
● 乳児・幼児の手に届かない場所に保管してください。誤って口に入れたり、空き袋を破からかぶったりしないようにしてください。
● 腐食性などの薬液下にもなり、ゴキブリやカビが発生することがありますが、品質の影響はありません。取扱いにお気をつけください。
● 目の弱い方・アレルギーのある方は、手袋等をつけて作業を行ってください。



FOREX
森産業株式会社

フリーダイヤル: 0120-133191
Eメール: forex@forex-mori.com
ホームページ: <http://www.forex-mori.com/tucchi>

万一品質に不具合がありました場合は、上記フリーダイヤル、Eメールまでお問い合わせください。

シャコバサボテンの土 5ℓ

